

医工連携 製品開発探る

産学官
フォーラム 講演通じ事例紹介 弘 前

ひろさき産学官連携
フォーラムの2016
年度第1回医工連携研
究会が24日、弘前大学
のコラボ弘大で開か
れ、今年度事業計画の
承認や、事例紹介など
が行われた。

研究会は今年度、弘
前大学理工学研究科
との連携による医工連
携セミナーの開催や医

療系展示会「メディカ
ルクリエーションふく
しま2016」への出
展のほか、「弘前大学
COI2017ヘルシ
ーエイジング・イノベ
ーションサミット」も
共催する。

事例紹介では、「医
工連携におけるモノづ
くりの現状と課題」と
題し、青森市のトム・
メディック代表取締役

の館山光浩さんが講
演。医療現場の声を聞
いて開発した、医療機
器の電源ラインの乱雑
さの解消と移動時の安
定を高めた輸液用スタ
ンドや、ベッド周辺の
電源コードなどを束ね

て整理でき、踏みつけ
や感染源の予防と医療
機器の転倒などに役立
つ医療用結束バンドな
どの製品やその納入実

講演するトム・メディック代表取締役の
館山さん



績などを紹介しつつ、
「世の中には製品の
開発も大事だが、受け
入れられやすい既存製
品のリメイクも大事」
などと説明。参加した
メーカー担当者らが聞
き入った。(西尾英)